

Statistical Room



統計における ICT の活用 ～時代に先駆けたオンライン調査の推進～

平成 30 年住宅・土地統計調査

国や地方公共団体の各種施策については、現状を正確に把握し、将来の展望に立って行われる必要があります。そのためには、実態を表す客観的なデータである統計が不可欠です。特に、我が国の地域ごとの住宅数や住宅の種類・設備、居住世帯や土地保有の状況等、私たちの住生活に関わる事柄を明らかにする住宅・土地統計調査の重要性が増しています。

本年 10 月に実施される平成 30 年調査の集計結果からは、多様化する国民の居住状況や高齢化等の社会・経済状況の変化を踏まえ、住宅ストックのみならず、高齢社会を支える居住環境、耐震性・省エネルギー性等の住宅性能、土地利用や空き家を含めた住生活の実態が明らかになります。

パソコンの他、スマホ等での回答も可能

住宅・土地統計調査は、全国の 370 万世帯を対象とする最大規模の統計調査ですが、近年の個人情報保護意識の高まりやオートロックマンションの増加等により、調査環境が一層厳しくなっています。こうした中、前回（平成 25 年）の調査では、大規模調査として初めて全国一斉に導入されたオンライン調査により、世帯の回答の利便性が飛躍的に高まりました。今回（平成 30 年）の調査では、世帯の負担軽減・利便性の一層の向上を図るため、また、近年の ICT の急速な発展に合わせて、パソコンに加えて、スマホやタブレット端末による回答も可能とされました。

（注）ICT…情報・通信に関する技術の総称

オンライン調査の実施に合わせて、国に設置されるコールセンターでは、世帯からの調査への質問に対応するとともに、オンラインに関する専門的・技術的な照会にも対応できるテクニカルサポートが設置され、オンライン回答の円滑な実施が図られます。

周期調査は、すべてオンライン調査導入

国勢調査を始め、5 年に一度実施する周期調査においては、すべてオンライン調査が導入されています（いずれの調査も、紙の調査票による回答は可能です）。統計調査を取り巻く環境の変化への対応や、回答者の負担軽減のため、このような ICT を活用した積極的な取組が必要とされています。

正確でかつ精度の高い統計を作成するため、調査への御理解と御回答をよろしくお願いします。



出典：総務省統計局 HP「住宅・土地統計調査」